

第3学年「音楽」の学力向上のための方策

児童の実態（成果と課題の分析）

- 成果** ○歌うことのよさや楽しさを感じて学習することができる。
○拍にのって鍵盤ハーモニカや木琴、鉄琴などを使った合奏ができる。

- 課題** ▼正しい発声や正確な音程で歌うこと。
▼リコーダーの運指とタンギングの技能。

指導の重点（身に付けさせたい力）

- ◇ 歌詞に込められた思いや情景を想像して歌詞を暗記して歌う。
- ◇ 発音や発声の技能を磨き表現の幅を広げる。
- ◇ 継続して鍵盤ハーモニカの技能を伸ばすことと、リコーダーの繊細な演奏を身に付けさせる。

具体的な改善策

主体的に学習に取り組む態度のための工夫

- 楽譜を読む力を少しずつ身に付けさせる。また、正しい発声や発音、楽器の運指など、基礎的な技能を継続して指導する。
- 児童同士で教え合って練習させる。

言語活動の工夫

- 歌詞の様子を思い浮かべて暗記し、歌を自分のものにして歌えるようにする。
- 鑑賞活動では、【共通事項】を基に感想を書いたり、友達と意見の交流をしたりする。

ICT活用の工夫

- 鑑賞では、映像を見て楽器の形や演奏の様子がわかるようにする。
- パソコンを使って簡単なリズムや旋律をつくる。

課題解決力育成の工夫

- 音楽表現を考えて表現に対する思いをもたせる。
- 曲や演奏の楽しさを見い出しながら音楽を味わって聴けるようにする。

達成目標

- 音楽のよさや楽しさを感じ、自分の思いや意図をもって音楽表現できるようにする。特に強弱表現を工夫する技能を身に付けるようにする。
- 互いの楽器の音や副次的な旋律、伴奏を聴いて、音を合わせて演奏する。